

令和4年度 いのちの授業 事例集（幼稚園こども園）【人間関係】

掲載数

11

地区	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 相模原市	年長	人間関係	いのちの教育 『自分のいのちはみんなのいのち』	生まれてきたことが素晴らしいことだと感じてもらえるように人が生まれた時の標準体重、標準身長と同じ人形を抱いてもらった。子どもが飼育している生き物の命と関連させ小さな命の脆さを思い出しながら、大切にされて今があることを感じてもらう。人はただ世話をされるだけでは生きられず、笑いかけたり話しかけたりすることが必要であり、今ここにいるのは誰かがそれをしてくれたからと伝え、どのように話しかけてくれたのか想像してもらった。「生まれてきてくれてありがとうかな」等の発言があった。自分の命は自分のものだが、様々な人が大切にしている宝物で、失ったらどう思うか考えてもらったところ「悲しいと思う」「命は守らないといけないんだよね」と話していた。	講師は城山幼稚園（養護教諭） 教材は手作りの動くイラストと人形 参考資料は ・東北大学の発見 ・フリードリッヒ2世の実験
2 相模原市	年少	人間関係	ハートの形から	カタバミの葉っぱをみて「ハートのはっぱだ」と形を喜び、集めることが始まった。自然とみんなですのこに並べ「かわいい」「また、みつけた」など、思い思いの言葉が聞かれた。一人の幼児が胸に手をあて「けんかしたらここにいれればいいんだ」と話した。教師はその声に「素敵なお話を発見したね」と、みんなで共有して行けるよう幼児の声をつないでいった。星やハートの型抜きをして遊んだ時には、ハートの形を自分の胸の辺りにテープでたくさんつけていた。友達が困っていそうだと、手でハートの形を作り「どうぞ」と渡していた。心は目には見えないけれど、ハートの形から優しい気持ちをたくさん感じていることが伝わってきた。	花壇の土作りの為、雑草抜きをした時の出来事
3 中	年中	人間関係	自分の気持ちや友達の気持ちを大切にしようとする	友達と一緒に遊ぶ楽しさを知り始めた4歳児。友達との関わりが増えるようになると、思うようにいかないことも増え、相手を傷つける言葉を発する姿が出てきた。しかし、そのような場面で黙ってしまったり、どうしたらいいかわからなかったりする子もいた。そこで、クラスの時間に様々な表情をしているイラストカードを用いて、色々な気持ちがあることや「こんな時はどんな気持ち？」と子ども達と自分や友達の気持ちに気付けるような話をした。すると、一日の振り返りの時間に「○○と言われて嫌だった」と自分の気持ちを知らせたり、遊びの時間に「そんなこと言ったら●●ちゃん、嫌な気持ちだよ」と友達の気持ちに気付いて、友達を助けたりする姿が増えてきた。	

4	中	年中	人間関係	高齢者施設の方との交流	<p>交流している高齢者施設からハロウィンのお菓子が届いた。幼児からお礼を伝えたいという言葉が聞かれ、どうしたら喜んでくれるか考えることにした。自分の祖父母に置き換えて考える幼児もいたので、家で祖父母や近隣に住む高齢者の方に聞いてみるように投げ掛けた。翌日、「笑ってくれると嬉しいって。」「元気な姿を見ると嬉しいって。」「どんぐりころころの歌が好きだって言っていた。」等、それぞれが聞いてきたことを口にする姿があった。中には遠くに住む祖父母に電話をかけて聞いた幼児もいた。翌週、高齢者施設を訪ね、歌を聞いてもらったり、踊りを見てもらったりすると、利用者の方の中に涙を流して喜んでくださる方もいて、それは「うれし涙」であることに気づいたり、相手の気持ちを考える活動となった。</p>	
5	中	年長	人間関係	「チクチク言葉」と「ホカホカ言葉」	<p>些細な理由で2人の女儿が言い争いになり、1人が『死ね』と言った事で相手が酷く傷ついた事例があった。そこで担任は、クラス全体の問題と捉え、朝の集まりの中で、言われて悲しくなる言葉（チクチク言葉）について幼児に尋ねた。幼児は「死ね。ちび。くさい。大嫌い。」等、1人ずつ思いつく言葉を言いながら、発泡スチロールで作った心に悲しみの矢を刺していった。逆に、自分が言われて嬉しい言葉（ホカホカ言葉）を言って矢を抜いてもらうようにすると、「一緒に遊ぼう。ありがとう。大好き。上手だね。」等があがった。その後、全部の矢が抜かれ、心が温かくなっても穴が閉じていないことに気付いた幼児が、「心が悲しそう。なんか痛そう。」と呟いた。視覚教材を活用して分かりやすく伝えた事で、幼児は悲しく傷付いた心は簡単には治らないことを学び、「死ね。殺す。」の言葉の意味と、自分が発する言葉の重みを考える機会となった。さらに、みんなで楽しく過ごすためには、“ホカホカ言葉”を使っていく大切さに気付くことができた。</p>	担任の手作り教材 心をイメージした発泡スチロールの心と鉛筆で作った矢
6	県西	年長	人間関係	友だちの頑張る姿を応援する気持ちをもつ	<p>鉄棒でB児は逆上がり、C児は地球回りを練習をしていた。A児は逆上がりや地球回りに挑戦をしていたが、繰り返し挑戦するB児、C児を見て「Bちゃんあと少し！頑張れ！」「Cくん、手はそのまま鉄棒を持って、そのまま足を離して回るの！」と言って二人を応援していた。応援された二人も嬉しそうな表情を見せたり、根気よく練習を続けたりしていた。友だちに自分の頑張る姿を応援してもらい、認められることは一層の自信をもち、いろいろなことに挑戦しようとする姿につながっていった。</p>	
7	県西	年中	人間関係	「ぼくが ようちえんにくるとうれしい？」	<p>9月休み明け、A児は幼稚園になかなか馴染めず、保護者に抱かれて登園する日が続いていた。毎朝、門の所の所で、「Aちゃん、頑張って幼稚園に来たね。Aちゃんが来てくれると嬉しいよ。」と言って受け入れていた。</p> <p>ある時、遊んでいたA児が私の顔をみると「Aが幼稚園に来ると、園長先生、嬉しい？」と聞いた。</p> <p>そこで、「嬉しいよ。Aちゃんが元気に幼稚園に来てくれると、とっても嬉しいよ。」と伝えると、ニコッとし、嬉しそうに遊びを続けた。</p> <p>それまで、母親に抱かれて泣き泣き登園していたA児だが、その頃から、母親と歩いて登園する姿が多くなった。</p>	

8	県西	年長	人間関係	「あし だい じょうぶだっ た？」	<p>足に持病があり、定期的に通院しているA児が、この日は病院に行くために園を早退した。</p> <p>それから数日後、A児といっしょに遊んでいたB児が、ふと「Aくん、足は大丈夫だった？」とA児に尋ねていた。B児が「うん、大丈夫だよ。もう大丈夫なんだよ。痛くないの。」と答えると、B児はにっこりしていた。</p> <p>教師は「Bくん、Aくんのこと心配していたんだね。」「Aくん、Bくんが『大丈夫かなあ』って心配してくれて、うれしいね。」と声をかけた。2人は「うん。」と笑顔でうなずいていた。</p>	
9	県西	年長	人間関係	誕生会での保護 者からの思い	<p>毎月、誕生児の保護者をお招きして誕生会を行っている。その中で、出産したときはどのような気持ちだったのか、保護者から話していただいている。「とっても大きくて、出てくるのに時間がかかったの。」と言う保護者に「時間はどのくらいかかったの。」「どれくらい大ききだったの。」と質問をする幼児もいる。保護者の「あなたに会えてうれしかった。産まれてきてくれてありがとう。」という気持ちを知り、自分が大切にされていると感じる経験になっている。</p>	
10	県西	年長	人間関係	飼育当番活動を通 しての育ち	<p>「ウサギのクロちゃんとお腹をすかせている！」「早く当番に行かなくちゃ！」朝一番に子ども達から声上がる。当番に行くと、お腹をすかせて近寄ってくるクロちゃんとお腹をすかせてあげると「今あげるからね！」と優しく声をかける子ども達。中にはウサギがどんなものが好きなのか知るために、いろいろな草や葉、野菜を種類別に分けて持ってきてあげる子もいた。それだけウサギへの関心や愛着心が高いことが分かる。</p> <p>掃除も二人で声を掛け合い、分担して手際よく行えるようになった。動物のために自分達ができることを考え、それが協力する姿につながっていった。また、ウサギもきれいな環境にいたいこと、餌をあげないと死んでしまうという命の大切さを、当番活動を通して子ども達は学んでいることも分かった。</p> <p>降園時間が近づくと、「明日の当番は〇〇ちゃんと〇〇君だよ。」と進んで声を掛け、次の当番の友達に当番バッチを渡す姿も見られるようになった。</p> <p>1月からはよいよ次の学年に飼育当番を引き継いでいく。年長組としてできること、学んできたことをしっかり他学年に伝えられるように一人ひとりの姿勢を見守り、励ましていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師は子どもの姿を見守り、励まし、時に手助けをしながらかかわる。</li> <li>家庭との連携を図り、当番の子は家庭からウサギの餌を持ってくる。</li> <li>当番の表やバッチを用意し、次の当番への期待や意欲を高められるようにする。</li> </ul>
11	県西	幼複合	人間関係	世界平和…みんな ちがってみんな ないい～自分も 大事みんなも大 事	<p>ウクライナとロシアの戦争が続いている。喧嘩は嫌だ。ダンスや歌で仲直りしたらいいんじゃない…等の話をしていた子ども達。世界の様々な国や人に興味関心を持ち始めた。そこで世界各地を旅している方から実際の映像を用いながら話を聞き、世界には様々な人種がいることや様々な考えや文化があること等を知る。素直に話を受け入れる姿があり、遠くで起きている問題も自分の事として考えられるきっかけにもなった。</p>	<p>金子森氏（ネイチャーガイド） グーグルアース地図</p>